

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-04-12
事務事業名	民生委員児童委員活動助成事業	根拠法令・要綱等	民生委員法、児童福祉法
事業開始年度	昭和46年～	問合せ先	
大項目	基本目標 健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	介護福祉課
中項目	基本施策 やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	高齢者福祉係長・春名美郎
小項目	施策 高齢者福祉	電話	0869-64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	民生委員児童委員
目的(何のために)	民生委員法、児童福祉法に規定される民生委員児童委員が遂行するための活動・事業を支援することを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	備前市民生委員児童委員協議会に対して補助金を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	活動件数が多ければ地域での社会福祉活動が活発に展開され住民の安心が得られる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
協議会行事開催回数	回	53	58	61
協議会研修会開催回数	回	16	14	25
活動件数	件	27,713	19,329	21,137
直接事業費	千円	9,912	9,598	9,236
人件費	千円	6,820	7,065	12,936
事業費計		16,732	16,663	22,172
国県支出金		7719	7756	7734
受益者負担	千円			
市一般財源		9,013	8,907	14,438
必要人員	人	0.75	0.70	1.38
結果指標名				
結果指標	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
協議会行事開催回数	説明	協議会全体の年間行事回数		
結果指標量	回	53	58	61
対前年比	%	-	109.4%	105.2%
活動コスト	円	16,732,000	16,663,000	22,172,000
単位当たりコスト	円	315,698	287,293	363,475
協議会研修会開催回数	説明	協議会全体の年間研修回数		
結果指標量	回	16	14	25
対前年比	%	-	87.5%	178.6%
活動コスト	円	16,732,000	16,663,000	22,172,000
単位当たりコスト	円	1,045,750	1,190,214	886,880

事業の成果			
成果指標名	平均活動件数	式又は説明	年間活動件数/委員数
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	212	148	161
対前年比		69.81%	108.78%
到達目標値	170	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	民生委員、児童委員活動については市民からのニーズの多様化が益々大きくなる事が予想され、今後とも活動の拡大や質の向上が求められる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果	効率性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		課題認識
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	補助単価が年々下がっているため、事業内容を見直す必要がある。なお、人件費及び人員の増については、業務量の実数によるものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	有効性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		課題認識
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない	従来の高齢者対応に加え、児童虐待等の増加、若年者の相談など、民生委員の活動は増加しているため、自ずと活動件数は増加する。	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
手	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		課題認識
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	従来の高齢者対応に加え、児童虐待等の増加、若年者の相談など、民生委員の活動は増加しているため、自ずと活動件数は増加する。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	従来の高齢者対応に加え、児童虐待等の増加、若年者の相談など、民生委員の活動は増加しているため、自ずと活動件数は増加する。	
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度			

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	19年度に民生委員の改選があり、多くの新任委員が委嘱された。そういった中で、20年度は、多様な市民ニーズに対応するため、県民協などが主催する研修会等に積極的に参加して自己研鑽を図っている。
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 63	結果指標量 27
	成果指標量	170

総合評価		評価区分<A-E>	B
民生委員児童委員活動については、市民からのニーズが多様化しており、今後とも活動の拡大や質の向上が求められる。しかしながら、補助単価は年々下がっている中、質の高い研修等の機会を増やし効果的な活動へ結びつけていくことが必要となる。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	研修内容を見直し、より効果的な研修を実施する。	平成21年度	新任委員のレベルアップ